「胆　道」投稿規定

(1) 本誌に投稿，掲載を希望する論文は，胆道に関連する内容を有し，ヘルシンキ宣言を遵守し，倫理上の問題がなく，この方面の研究の進歩に寄与するもので，しかも他誌に投稿，または発表していないものとし，誓約書・承諾書（様式 1）を提出する．著者は連名者も含め，原則，日本胆道学会の会員に限る．病理医はこの限りではない．ただし，会員資格がなくとも論文内容に重要な役割を果たす場合は，投稿の際，共著者に加えることを妨げない．その場合，論文に関する貢献内容を本文末尾に明記し，編集委員会の承認を得るものとする．なお，原則として著者の数は 12 人以内とする．ただし，総説，画像解説，「Video Report」は 6 名以内とする．また，二次出版に関しては元の論文の体裁，共著者の記載を踏襲し，特に制限を設けない．

(2) 投稿形式：

ａ）原著，総説，症例報告，エキスパート・レクチャー，画像解説，Letter to the Editor の投稿形式は，論文題名，著者名，所属施設名，日本語要旨，索引用語，本文，文献，英文要旨（題名，著者名，所属施設名，要旨，Key Words），図表とする．ただし，画像解説は，日本語要旨，英文要旨は不要である．症例の数は原則として 1 例とする．Letter to the Editor は，日本語要旨，索引用語，英文要旨は不要である．索引用語，図表の説明は日本語とする．なお，著者名，所属施設名は，略記せず，全て表記する（同一施設で所属のみ違う場合でも施設名を略さずに表記する）．欧文著者名も，頭文字のみの表記はせず，フルスペルで表記する．また，英文要旨（題名，著者名，所属施設名，要旨，Key Words）は，必ず日本語表記のものに完全に対応する形とする（Key Words の数等も一致させる）．

ｂ）原著，総説は 5 分以内のビデオクリップ 1 点を投稿可とする．図表・写真の点数に含めること．

ｃ）動画での提示が有用な，検査・治療手技の工夫，新規治療デバイスの紹介，トラブルシューティング，会心の症例，教育的な症例などを紹介する「Video Report」の投稿も受け付ける．

ｄ）掲載された論文に対する意見，質問がある場合は Letter to the Editor の投稿も受け付ける．内容は 800 字以内，図表なしで論点を簡潔に記述する．なお，文献をつける場合は 3 篇以内とする．

ｅ）日本胆道学会から依頼された原稿については，依頼時の投稿形式に従う．

ｆ）投稿要領の詳細は（6）のｊ）を参照のこと．

(3) 投稿された論文の内容について，本誌の編集方針やスタイルの統一性を保つために編集委員会で修正することについて同意することを原則とする．

(4) 用語は新仮名遣いを用い，日本医学会医学用語辞典，消化器病学用語集および消化器内視鏡用語集に準ずる．本文中の外国人名は原語で，薬品については一般名の形で記載することが望ましい．また，論文中にしばしば繰り返し登場する用語については略語を用いて差し支えないが，とくに慣用されているものを除き，初出の際は完全な用語を記載し，略語を使用する旨，記述する．この投稿規定の後に，最初から使用してよい略語を一覧にしてある．

度量衡の単位は，mm，cm，m，m*l*，d*l*，mg，g，kg 等にて記載する．

(5) 文献の記載方法：

ａ）記載順序は引用順とし，本文中に肩付番号を付すこと．

ｂ）欧文誌は Index Medicus の略記法にならい，著者名，論文題名，雑誌名，西暦年号，巻数，頁数（始―終）の順に記載する．

Yamakawa T, Komaki F, Shikata J. Experience with routine postoperative choledochoscopy via the T-tube sinus tract. World J Surg 1978; 2: 379―385

c）和文誌についても欧文誌に準ずる．

山本　宏，渡辺一男，篠原靖志，ほか．胆管造影 CT による左肝内胆管枝と門脈臍部の解剖学的相互関係の評価．胆道　1995；9：384―389

d）和文・英文以外の場合，雑誌名は原文で記し，最後に（in German, Abstract in English）のように言語を記す．その他の体裁は欧文誌に準ずる．

e）単行本については和文，欧文ともに，著者名，題名，編集者名（または監修者名），書名，巻数，版数，発行地名，発行社名，発行西暦年号，頁数（始―終）の順に記載する．

①単著の場合；

有山　襄．新・肝胆膵画像診断テキスト．東京：文光堂，1991：143―244

Sherlock S. Diseases of the liver and biliary system. 8th ed. London: Blackwell Scientific Publications, 1989: 618―638

②引用論文が単行本の一章である場合；

川原田嘉文．原発性肝癌−肝嚢胞性腺癌．水本龍二　編：肝臓・胆道・膵臓の外科―研究と臨床．東京：医学図書出版，1994：235―239

Schwarz SI. Bleeding problems in hepato-biliary patients. In: Bengmark S, eds. Progress in surgery of the liver, pancreas and biliary system. Dordrecht: Martinus Nijhoff Publishers, 1988: 95―102

ただし，1 冊のみの場合と初版の場合は巻数，版数は記載の必要はない．

f）著者名は 3 名またはそれ以下の場合には，全員の名前を記載する．4 名以上の場合は最初の 3 名までは併記し，それ以上は「ほか」または「et al」として省略する．

g）未公表データや personal communication などは引用できない．ただし，

①出版されることが明確な場合は，「印刷中」または「in press」を末尾に記載する．

②personal communication が書かれたものである場合には，論文中に括弧で囲み引用できる．

h）抄録を引用する場合は，題名の後に「抄録」または「abstract」と明示する．

i）電子文献を引用する場合は，サイト名称．アドレス（引用した年月）の順に記載する．

Internal Medicine.

http://www.jstage.jst.go.jp/browse/internalmedicine/-char/ja/（2006 年 6 月現在）

（6）投稿要領について：

a）論文の投稿は，電子投稿システム「ScholarOne Manuscripts™」で行う．

論文は，本文，図，表についてそれぞれファイルを作成し，投稿ウェブサイトからアップロードする．必ず投稿前に全文 PDF を開き，ファイル内の文字化け，画像の鮮明度，図や表の番号や説明などを確認する．

投稿ウェブサイト：http://mc.manuscriptcentral.com/jjba

（日本胆道学会 WEB サイト内リンクより移動可）

b）論文原稿：原稿はワープロを使用して，1 ページ 800 字詰（32 字×25 行），横書きとし，投稿形式を明記する．なお，行間に余裕を持たせ，文字は 12 ポイント程度とする．表紙を 1 ページとして，通しページとする．標準的なフォント（MS 明朝，MS ゴシックなど）を用いた Microsoft 社の Word での作成を推奨する．

c）Video Report について，「検査・治療の工夫」・「新規デバイスの紹介」・「トラブルシューティング」・「会心の症例」・「教育的な症例」・「珍しい症例」・「その他」の 7 つのカテゴリーの中から 1 つ選んでタイトルページに記載し，論文のポイントを数行以内で併せて提示する．動画は 1 つにまとめて 5 分以内で作成し，キャプションもしくはナレーション（日本語または英語で）の最低どちらかを入れること．原稿は原則 1 枚（800 字）以内とするが，必要があるときは 2

枚までは許可する．

d）表については標準的なフォント（MS 明朝，MS ゴシックなど）を用いた Microsoft 社の Excel での作成を推奨する．表には番号，タイトル，脚注を含める．

e）英文要旨は 200 語以内，行間ダブルスペースとする．

f）表紙には投稿形式，論文題名，著者名，所属施設名，索引用語，連絡先を記入し，2 ページ目に日本語要旨を記入する．本文，文献，英文要旨，図の説明は，それぞれ用紙を別にする．

g）ファイル名：アップロードファイルは，次のように半角英数字を用いて名前を付ける（拡張子は例示）．

論文原稿：MainDocument.doc

図：Fig1.jpg　Fig2.jpg　Fig3.jpg

表：Table1.xls　Table2.xls　Table3.xls

h）動画は，Windows，Mac，Android，iOS で再生可能な mp4 で作成すること．動画のタイトルと説明は別紙に記入する．

i）ファイルサイズ：

アップロードするファイルサイズは，すべてのファイルの合計で 20MB までとする．

ただし，Video Report においては，ビデオサイズは 50MB 以下とする．

j）論文の枚数の制限，その他，主な規定を次に示す．

投稿形式	本　文 (800 字/枚)	要　旨		索引用語	図表，写真	文献	備　考
		日本語	英　語				
原　著	13 枚以内	400 字 以内	200 語以内（題名，氏名，所属名，所在地を含む）	5 語以内	合計 15 点以内*	30 以内	刷り上がり 約 10 頁程度
総　説	13 枚以内	400 字 以内	200 語以内（題名，氏名，所属名，所在地を含む）	5 語以内	合計 15 点以内*	おおむね 100 以内	刷り上がり 約 10 頁程度
症例報告	8 枚以内	400 字 以内	200 語以内（題名，氏名，所属名，所在地を含む）	5 語以内	合計 10 点以内	20 以内	約 7 頁程度
エキスパート・ レクチャー	おおむね 3 枚以内	400 字 以内	200 語以内（題名，氏名，所属名，所在地を含む）	5 語以内	おおむね 10 点以内	おおむね 10 以内	—
画像解説 （依頼原稿）	3 枚以内	な　し	題名，氏名，所属名，所在地	5 語以内	合計 10 点以内	5 以内	—
Video Report	1 枚以内 (2 枚まで可)	な　し	題名，氏名，所属名，所在地	3 語以内	合計 5 点以内*	5 以内	動画サイズ 50MB 以下
Letter to the Editor	1 枚以内	な　し	な　し	な　し	な　し	3 以内	—

*合計 5 分以内のビデオクリップを含む

*組写真を用いる場合は，その構成画像（図・写真）も含め，合計 15 点以内

*組写真 1 枚につき図・写真は 6 点以内

*論文作成上，制限を超える枚数の図表・写真が必要とされる場合は，投稿時，カバーレターにその理由を記載すること

k）著者校正は原則として 1 回限りとし，返送期日は厳守する．

(7) 掲載料金：

掲載料金は無料とする．別刷代は実費を徴収する．別冊は料金徴収後に送付する．別刷の注文は校正完了後に送信される購入方法を紹介するメールを参照し，申し込む．

(8) 依頼論文，Letter to the Editor を含めた投稿論文の採否は，編集委員会の決定に一任される．編集

委員会が指名した査読者の査読に基づいて編集委員会が審査・決定し，可及的速やかに責任著者に通知する．Letter to the Editor については当該著者とも協議の上，掲載可否を決定する．

(9) 査読過程で査読者が動画提示を求めたときは，編集委員会で検討の上，動画掲載を認める場合がある．

(10)表彰・英文誌への推薦について：

a）本誌に掲載された原著論文，症例報告，Video Report の中で特に優れたものについては，日本胆道学会賞として表彰される．また，年間でダウンロード数の多かった論文は，Best Download Award として表彰される．

b）原著論文，Video Report のうち，特に優れたものについては英文誌 Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences への掲載を推薦する．

(11)二次出版について：

編集委員会では下記の規定を満たす論文に関して，二次出版として当学会誌への掲載を認める．

a）二次出版の論文は，一次出版の論文と異なる言語で執筆し，一次出版の論文のデータならびに解釈を忠実に反映すること．

b）一次出版の論文の編集委員会（編集責任者）の許諾文書と既刊論文を提出し，投稿時，カバーレターに詳細を記載する．

c）二次出版の論文のタイトル頁に，一次出版の論文のタイトル，掲載誌名，発行年，巻，始頁―終頁を記載すること．およびその論文の二次出版であることを明記すること．

d）著者群は同一であること．

e）二次出版の論文の採否は編集委員会で決定し，著作権は本学会に属するものとする．

(12)その他：

a）著作権

本誌に掲載された論文の著作権は本学会に帰属し，他誌などに転載する場合には本編集委員会の同意を必要とする．著作権は，電子メディア化する権利，複製権，二次的著作物の利用権（インターネットでの公開等）を含む．なお，論文はインターネット上でも公開する．

b）倫理的問題

①臨床研究論文（症例報告，総説などを除く）の場合は，1）被験者からのインフォームドコンセントおよび施設内倫理委員会（またはそれに相当するもの）による研究計画の承認ならびに承認番号を得ていること，2）動物実験の場合には施設のガイドラインに準拠していることを本文中に明記する．

②本誌に投稿する際は，文部科学省・厚生労働省・経済産業省「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（2021 年 3 月 23 日制定）を遵守する．本学会「演題登録・論文投稿時の倫理手続き」フローチャート（https://www.tando.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2019/12/category.pdf）から適切な手続きを行う．

③薬事未承認の薬剤の投与や薬事未承認の医療技術が含まれている場合には，施設内倫理委員会（またはそれに相当するもの）による審査を受けていることを本文中に明記する．

④論文の内容は，外科関連学会協議会「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」を遵守する．

c）個人情報の保護

個人が特定されるような名前，生年月日，患者番号・ID，検査番号などが，本文ならびに画像に含まれていないことを確認する．日付は，臨床経過や時代背景を知る上で必要となることが多いので，個人が特定できないと判断される場合は年月までを記載し，「第何病日」や「術後何日目」などのように経過が明瞭となるように記載する．記載の詳細は，11）その他の b）倫理

的問題の④を参照のこと．

d）利益相反

責任著者は，「日本胆道学会『医学研究の利益相反（COI）に関する指針』」に基づき，当該論文にかかる著者全員についてのCOI状態に関して取りまとめ，オンライン上で報告する．報告内容は，論文掲載時に「日本胆道学会『医学研究の利益相反（COI）に関する指針』細則」に基づき，論文末尾または「文献」の前に記載される．

規定されたCOI状態がない場合は，「開示すべき利益相反はない」などの文言が同部分に記載される．

e）二重投稿（サラミ出版含む），盗用，ねつ造の禁止

出版された言語を問わず，既報または投稿中の文献と同一の内容またはきわめて類似した内容を，同一著者が本誌に投稿した場合，これを二重投稿とみなし，厳重に罰する．また，画像の使い回しも禁止するが，明記された引用については問題ない．サラミ論文と判断される可能性がある論文についてはCover letterにその旨を記載し，編集委員会の判断を仰ぐこと．

編集に関する問い合わせ先：日本胆道学会機関誌「胆道」編集事務局

〒114-0024　東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社　杏林舎内

日本胆道学会編集委員長　　伊佐山　浩通

E-mail：jbatando@kyorin.co.jp　　Fax：03-3949-0230

電子投稿システムに関する問い合わせ先：

株式会社杏林舎（Clarivate Analytics社　ScholarOne Manuscripts™の国内代理店）

（オンライン投稿・査読システムの操作に関する技術的なサポート）

E-mail：j3-sm@kyorin.co.jp

電　話：03-3910-4517

電話受付時間：平日9時から12時，13時から17時まで

（2025年5月31日改定）

最初から使用してよい略語一覧

	略　語	正式名
A	AFP	alpha fetoprotein
C	CA19-9	carbohydrate antigen 19-9
	CEA	carcinoembryonic antigen
	CT	computed tomography
D	DNA	deoxyribonucleic acid
E	ELISA	enzyme-linked immunosorbent assay
	ERC	endoscopic retrograde cholangiography
	ERCP	endoscopic retrograde cholangiopancreatography
	ERP	endoscopic retrograde pancreatography
	ESWL	extracorporeal shock wave lithotripsy
	EUS	endoscopic ultrasonography
H	HE 染色	hematoxylin eosin 染色
I	ICG テスト	indocyanine green テスト
M	MRI	magnetic resonance imaging
	MRCP	magnetic resonance cholangiopancreatography
	mRNA	messenger ribonucleic acid
P	PAS 染色	periodic acid Schiff 染色
	PCR 法	polymerase chain reaction 法
	PET	positron emission tomography
	PIVKA II	protein induced by vitamin K absence or antagonist II
	PPPD	pylorus preserving pancreatoduodenectomy
	PSC	primary sclerosing cholangitis
	PTC	percutaneous transhepatic cholangiography
	PTBD	percutaneous transhepatic biliary drainage
	PTCS	percutaneous transhepatic cholangioscopy
	PTGBD	percutaneous transhepatic gallbladder drainage
Q	QOL	quality of life
R	RNA	ribonucleic acid
S	SD	standard deviation
	SE	standard error
U	US	ultrasonography